

科目	小児看護演習				
時間数	1単位 30時間	授業方法	演習	授業時期	2年
講師名	③和田智恵子 ③藤田景子				
実務経験	③看護師(医療機関)				
ねらい	事例を通し、具体的な援助を考えることができる。				
目標	1. 病気や入院が小児と家族に与える影響を考える。 2. 健康障害のある小児の成長発達に応じた看護が思考できる。				
授業計画					
回	内容				
1	授業オリエンテーション、川崎病(情報の整理・分析作成)				
2	川崎病(情報の整理・分析作成)				
3	川崎病(情報の整理・分析作成)				
4	気管支喘息(情報の整理・分析作成)				
5	気管支喘息(情報の整理・分析作成)				
6	気管支喘息(情報の整理・分析作成)				
7	援助記録作成(バイタルサイン、吸入、全身清拭)				
8	援助記録作成(バイタルサイン、吸入、全身清拭)				
9	気管支喘息演示				
10	気管支喘息演示				
11	川崎病演示				
12	川崎病演示				
13	事例を用いて、グループ発表と振り返り				
14	事例を用いて、グループ発表と振り返り				
15	まとめ				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 学科終講時に行う筆記試験 50%、授業参加状況 10%、課題提出状況 20%、小テスト20%を総合して評価する 60点以上を及第点とする。				
教科書	子どもの病気の地図帳:講談社 小児看護学(2)小児臨床看護各論:医学書院				